真空管式太陽熱温水器

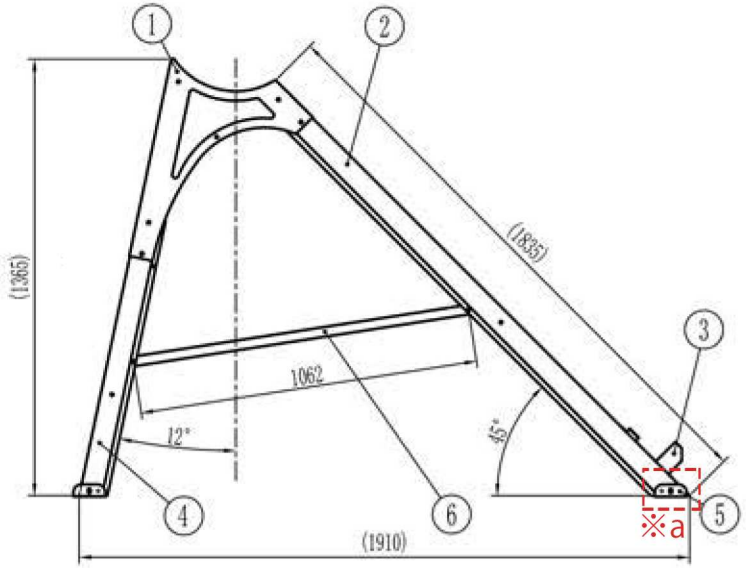
取扱説明書

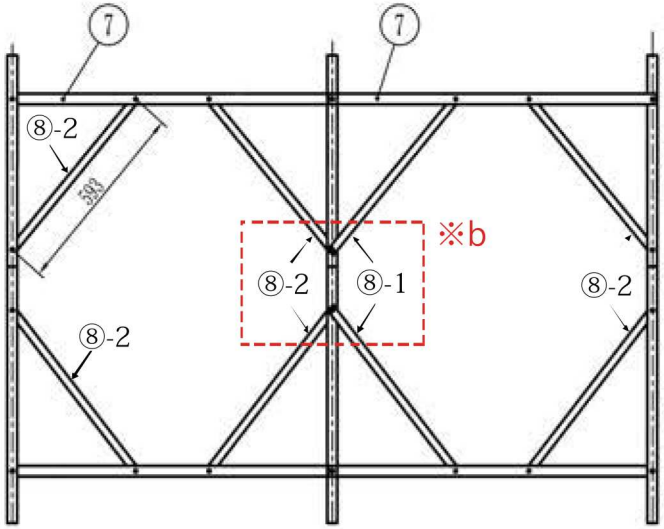
自然循環式太陽熱温水器サイフォン

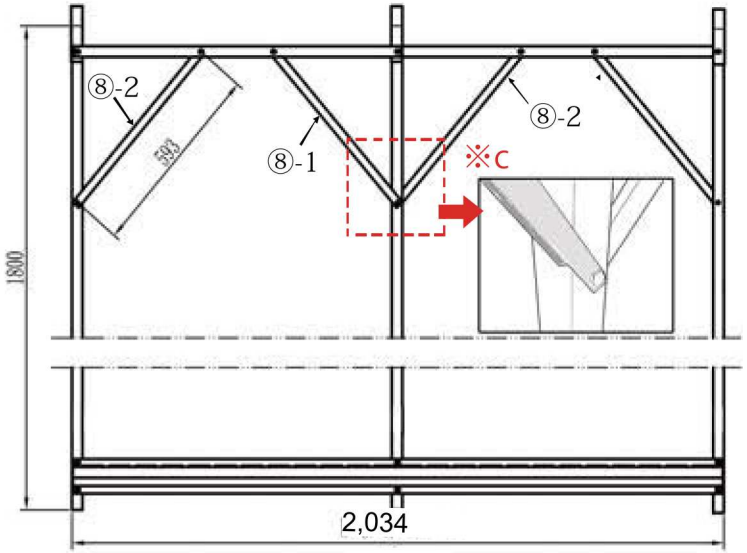
床置式架台

SYP-F

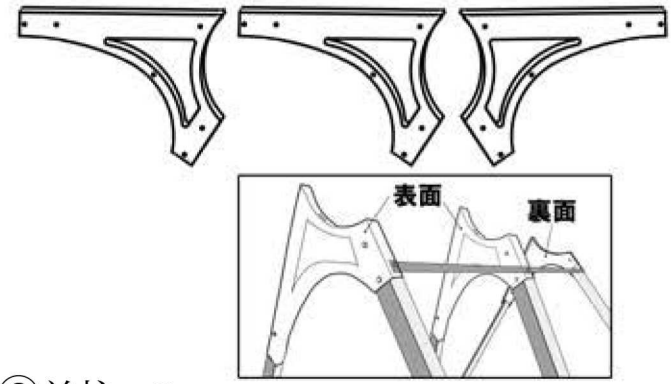
JAPAN ECOL Co.Ltd.



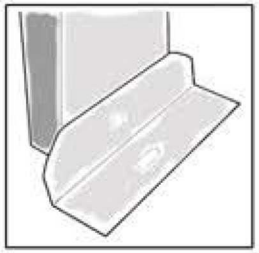




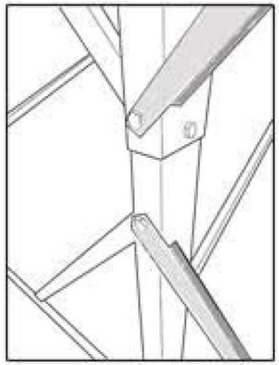
①タンクホルダー ×3



※a

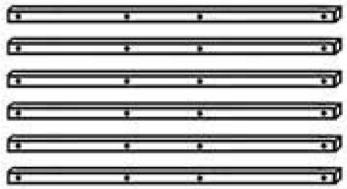


※b



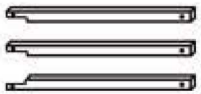
⑥ 方杖(ほうづえ)×3

⑦ 補強（長）×6

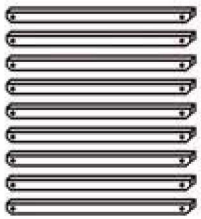


⑧ 補強（短）×12

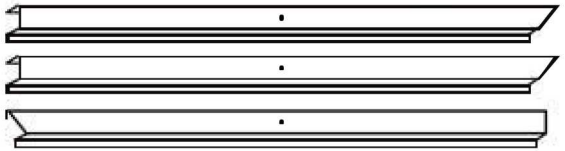
⑧-1× 3



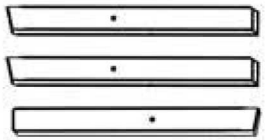
⑧-2× 3



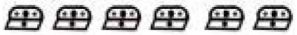
②前柱×3



④後柱 ×3



⑤ Lベース×6

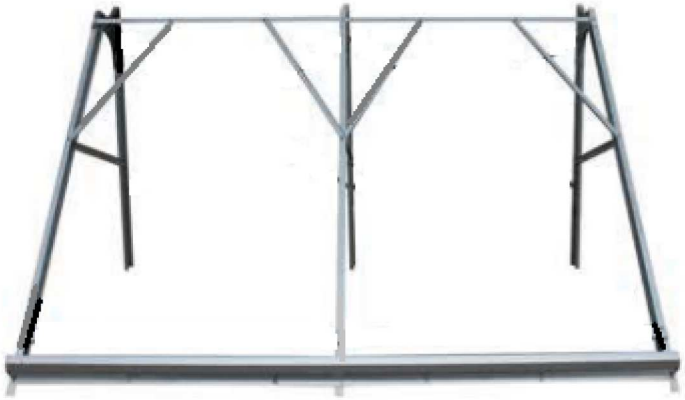


③下枠ホルダー×1

SYP24(真空管24本)	SYP30(真空管30本)
L=2034mm	L=2532mm

架台組立見本

※架台を組む時、仮組の緩い状態で組み、タンクを載せてから本締めをしてください



架台：正面から見た図

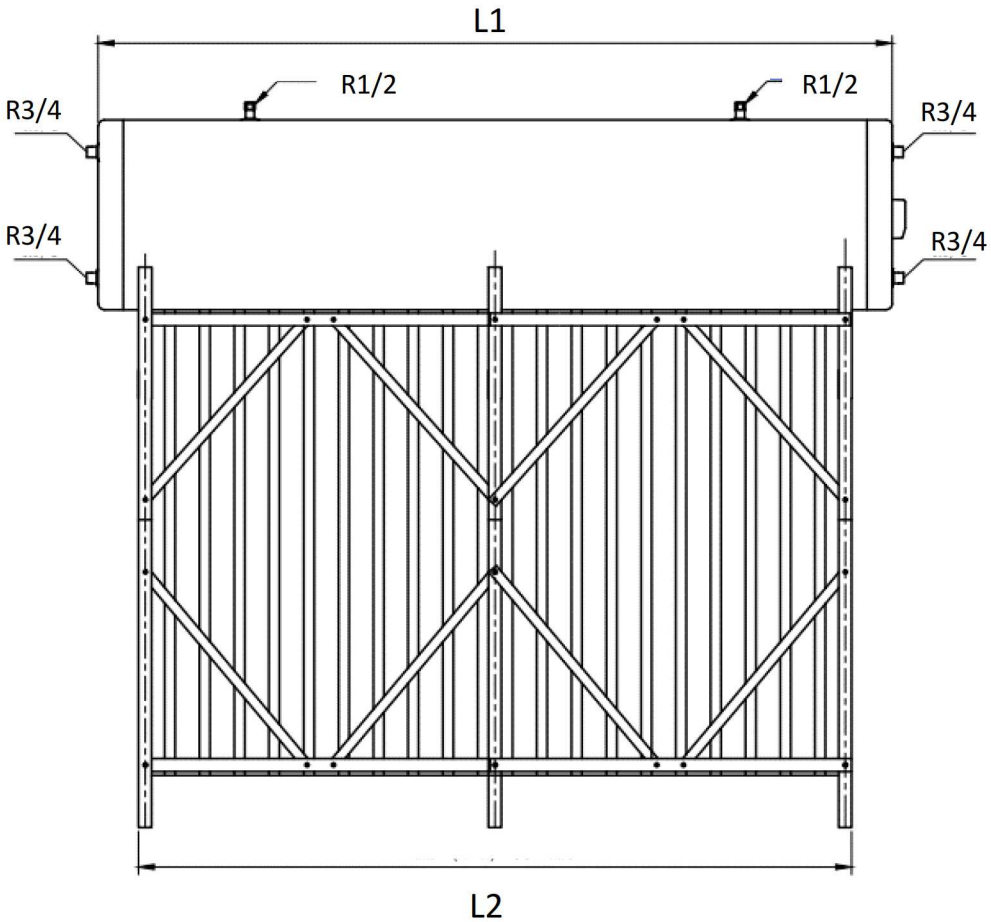
架台：後ろから見た図

架台：横から見た図

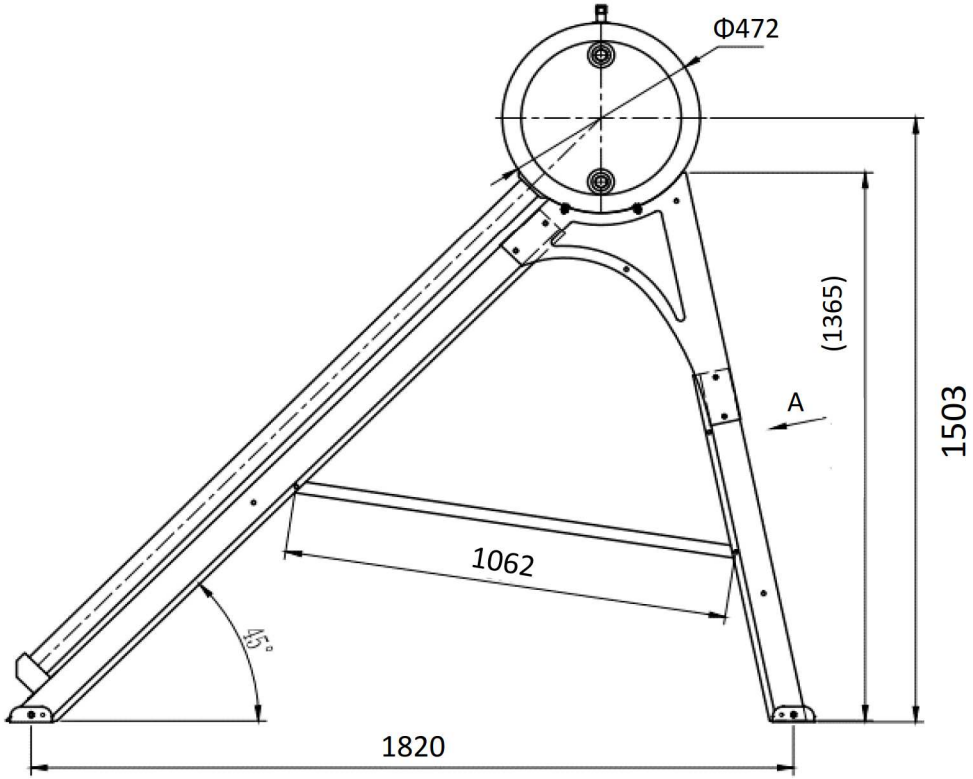
架台:細部・詳細

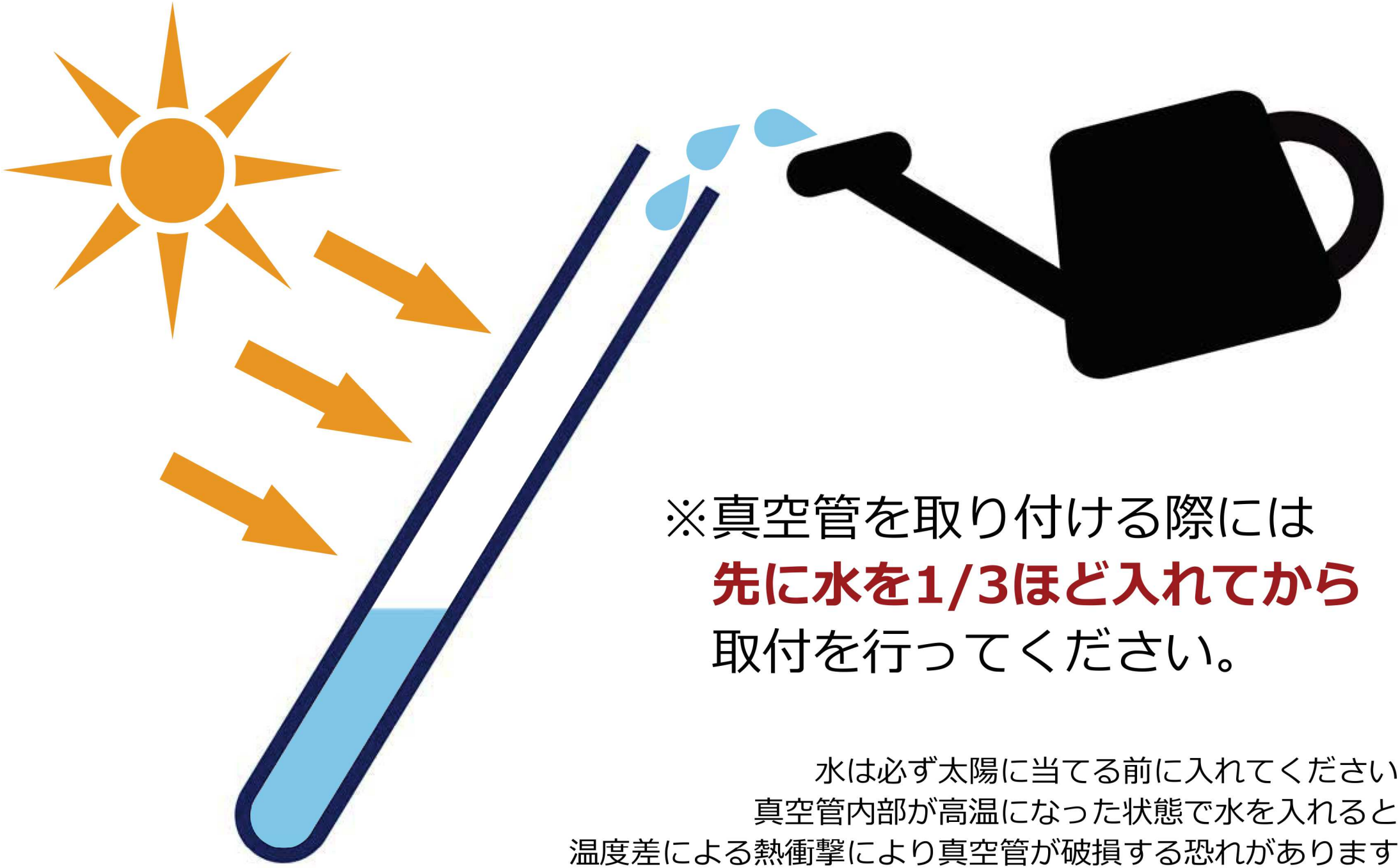
サイフォン24･30大きさ

	24	30
L1	2227	2725
L2	2034	2532



A向





※真空管を取り付ける際には
先に水を1/3ほど入れてから
取付を行ってください。

水は必ず太陽に当てる前に入れてください
真空管内部が高温になった状態で水を入れると
温度差による熱衝撃により真空管が破損する恐れがあります

真空管取扱注意事項

① タンクの確認

タンクに真空管をスムーズに挿入させるため、水で薄めた中性洗剤を用意して、内部のパッキンの溝の部分にしっかりと塗り込んでください。その際、ゴミがあれば取り除き、内部パッキンにズレがないか確認してください。

② 真空管の準備

真空管本体に化粧ゴムを取付け、こちらにも中性洗剤をしっかり塗り付けます。

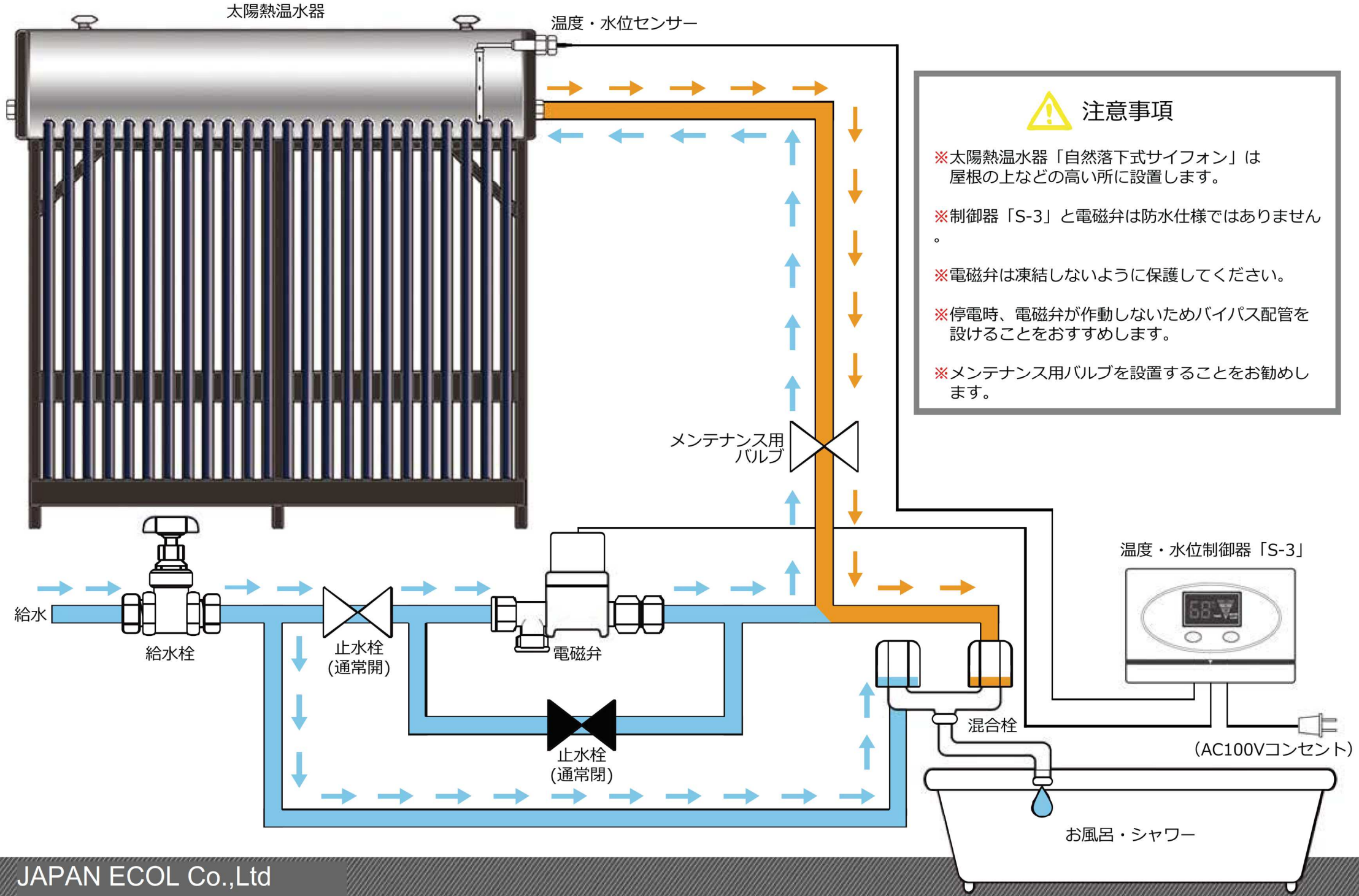
③ カバーの取付

真空管の先端(下側)にカバーをはめます。

④ 真空管の挿入

真空管を差し込む際には上下の隙間が同じになるようにタンク本体を回し、調節します。真空管の位置が決まったら、タンクの下にある４つのナットを締めてタンクと架台を固定します。

太陽熱温水器接続例：電磁弁式①(自然落下式サイフォン)



注意事項

※太陽熱温水器「自然落下式サイフォン」は屋根の上などの高い所に設置します。

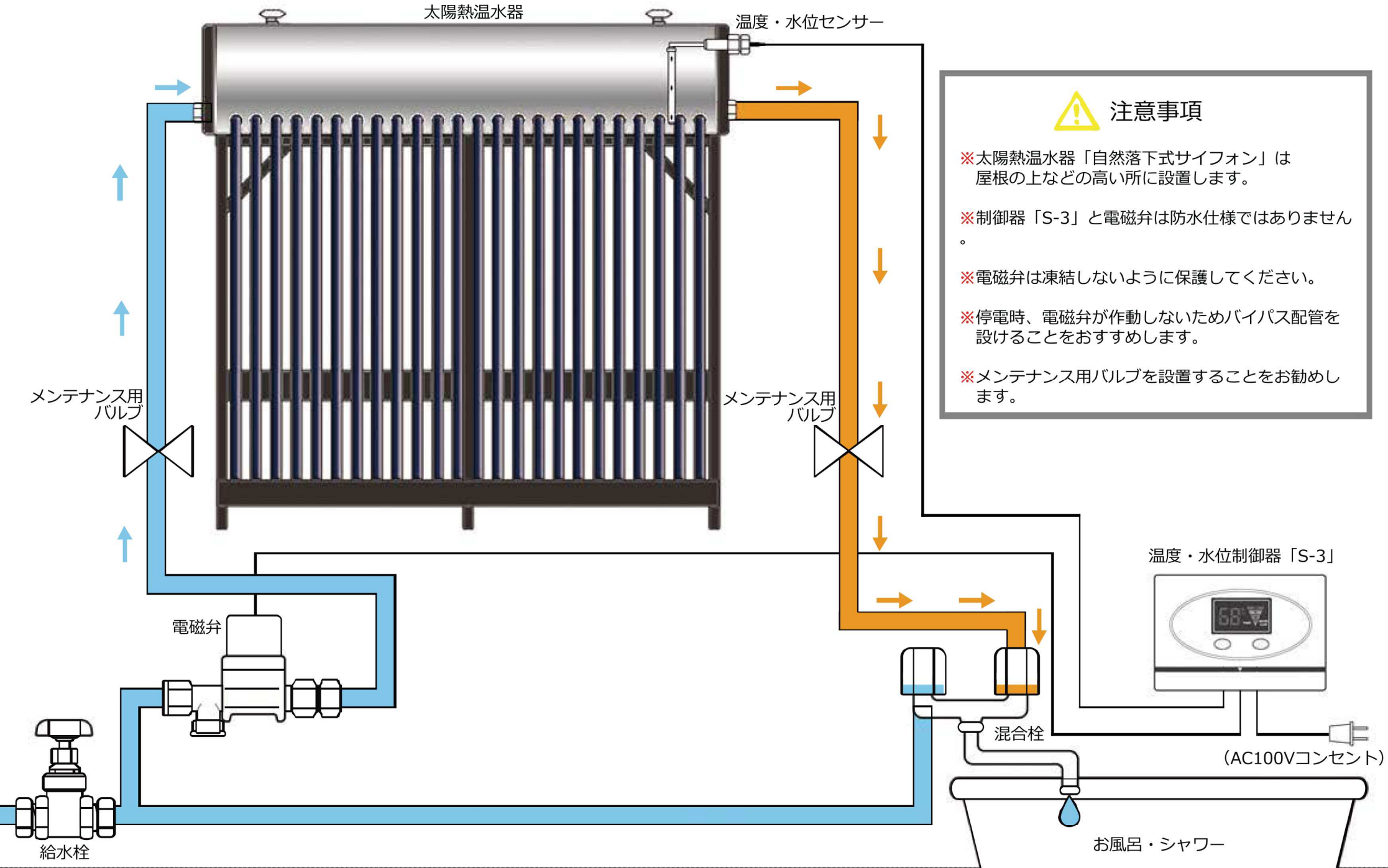
※制御器「S-3」と電磁弁は防水仕様ではありません。

※電磁弁は凍結しないように保護してください。

※停電時、電磁弁が作動しないためバイパス配管を設けることをおすすめします。

※メンテナンス用バルブを設置することをお勧めします。

太陽熱温水器接続例：電磁弁式②(自然落下式サイフォン)



注意事項

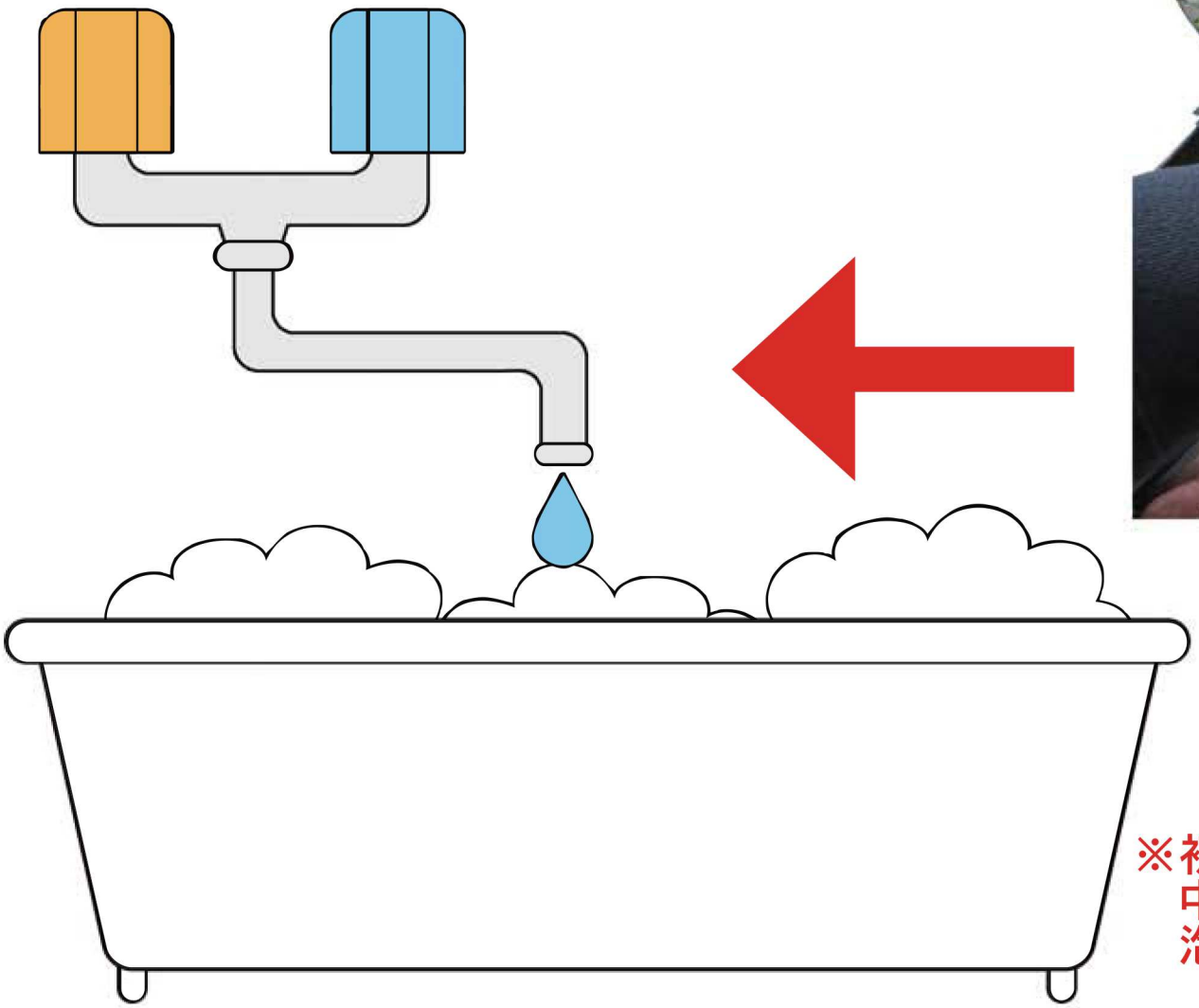
※太陽熱温水器「自然落下式サイフォン」は屋根の上などの高い所に設置します。

※制御器「S-3」と電磁弁は防水仕様ではありません。

※電磁弁は凍結しないように保護してください。

※停電時、電磁弁が作動しないためバイパス配管を設けることをおすすめします。

※メンテナンス用バルブを設置することをお勧めします。



※初回給湯使用時に真空管組立時に使用した
中性洗剤が混入することがあり
泡立つ事がありますのでご注意ください

JP
ECOL